

ゆずり葉だより (第31号)

令和6年3月発行



発行：秋田県在宅保健師等ゆずり葉の会

太田会長 あいさつ

令和6年1月1日に起きた能登半島地震では甚大な被害が出てしまいました。亡くなられた方々には心から哀悼の意を表し、被害にあわれた全ての方々にお見舞いを申し上げます。地震発生後数日経過した時に、東北地区ブロックの仲間である新潟県の青木智子会長さんにお見舞いを申し上げたところですが、会長さんは発災当日に支援活動をされたと伺いました。すばやい初動に対し敬意を表したいと思います。

さて、今年度のゆずり葉の会は新規事業の永年会員表彰をはじめ、会員研修会も会員交流会も予定通り集合形式で行い、楽しい思い出が積み重なりました。また、秋にはゆずり葉の会が、県知事表彰を団体受賞した嬉しい年度となりました。これまで努力された方々の功績が認められ私も誇らしく思います。

さらに、4年ぶりに集合で開催された東北地区ブロック会議は、12月に青森市で開催され、懐かしい方々や初対面の方々と交流することができました。講演や活動報告はさておき、情報交換会(懇親会)は、私がこの会議に参加して以来初めて、貸し切りの居酒屋でのおもてなしでした。中でも「スコップ三味線」の迫力は発祥地ならではのすごみが有り、体験した者としても今でもその響きが残っております。青森の方々による模範演奏の後、私達参加者も引っ張り出され、狭い花道のような板の間で、仮装しせめぎ合って演奏に酔いしれました。現職を退いてもなお保健師パワーをいかに発揮する場となりました。保健師はどんな場面でも素晴らしい力を発揮しますね！！

鉢植えのレモンの木に一個だけ実が残りました。少し黄色く色づき程良い大きさになったので、1月中旬に採って食しました。本当は木守りとして残しておいたほうが良かったのかもしれませんが。でもまた春が来て新しい花が咲くことでしょう。季節の巡りでいくつかの実も付けてくれるでしょう。被災地の方々にもゆずり葉の会にも巡りがやってきます。新しい巡りに希望を託していきましょう。

令和6年2月記 会長 太田敦子



◎令和5年度厚生労働大臣表彰並びに公衆衛生協会会長表彰について

次の方々が保健事業・公衆衛生看護活動に長年従事され、県民の健康増進に尽力された功績が認められ、日本公衆衛生協会より厚生労働大臣及び公衆衛生協会会長表彰が授与されました。まことにおめでとうございます。

受賞された方々

厚生労働大臣表彰 太田敦子さん (秋田・男鹿・南秋地区)
日本公衆衛生協会会長表彰 吉田幸子さん (北秋田地区)
田口美智子さん (秋田・男鹿・南秋地区)
加藤眞理子さん (大仙・仙北・美郷地区)



◎ 東北地方在宅保健師等会連絡会議が開催されました。

12月7日(木)～8日(金)に青森市を会場に東北地方在宅保健師等連絡会議が開催されました。コロナ禍の影響で3年ぶりの現地開催になりました。

出席者は会長(太田)・副会長(本間)・書記(田口)・会計(庄司)事務局(畠山)の5名でした。

一日目は、青森県国民健康保険団体連合会事務局長の挨拶に続き、「自殺対策のこれからーコロナ禍で深まった生きづらさを踏まえてー」と題して公立大学法人(青森県立保健大学健康科学部看護学健康科学部研究科教授)反町吉秀氏より講演がありました。心に残ったことは「生きづらさ」の問題は個人だけでなく、環境(家庭、職場、地域、社会)との関連性や相互作用の問題であり、人々の居場所(コミュニティ)をつくることである。ということでした。その後「国保保健事業を取り巻く動き」として国保中央会の山口道子氏より国の動向を踏まえ、やはり「つながり・支えあいのある地域共生社会」の大切さが話されていました。その後は都道府県在宅保健師等全国連絡会に出席した福島県の「絆」の会長からの報告が行われました。夕方から行われた情報交換会は各地区の参加者により楽しい情報交換会が行われました。

二日目は、青森県会長の新井山洋子氏・能登富枝氏の活動報告の後、グループワークが行われ本会の参加者はそれぞれのグループに分かれ「ゆずり葉の会」の活動について紹介を行いました。

『秋田市における水害被災者支援について』

令和5年7月に発生した秋田市中心部の豪雨災害により被災された方々を対象に、健康相談を実施しました。健康相談の依頼元はNPO法人あきたパートナーシップや秋田市社協などで、炊き出しやサロン開催に合わせたものです。突然の依頼でありましたが、各会場会員一人が従事し、表のとおり9回実施しました。

回数	日時	場所	依頼元
1	9/24 (日) 10-15時	東地区コミセン	あきたパートナーシップ(NPO法人)
2	10/5 (木) 13-15時	旭川地区コミセン	社協 (秋田市・旭川)
3	10/28 (土) 10-15時	檜山地区コミセン	あきたパートナーシップ(NPO法人)
4	11/29 (水) 13-16時	遊学舎 (中間報告会)	あきたパートナーシップ(NPO法人)



5	12/4 (月) 10-12 時	茨島地区コミセン	社協 (秋田市・茨島)
6	R6 1/14 (日) 10-15 時	檜山地区コミセン	あきたパートナー シップ (NPO 法人)
7	1/28 (日) 12-14 時	檜山地区コミセン	そばうち同好会 サラザン
8	2/25 (日) 12-14 時	檜山地区コミセン	そばうち同好会 サラザン
9	3/9 (土) 11-14 時	檜山地区コミセン	檜山バニヤンツ リー



◎寄付のご報告

令和6年1月 佐藤潤子さん(顧問)から、会への寄付として
3万円頂戴致しました。会運営に有意義に使わせて頂きたいと思
います。心から感謝申し上げます。誠にありがとうございます。



◎第2回幹事会が開かれました。

第2回幹事会が令和6年3月8日(金)に市町村会館4階で開催されました。

主な内容は

- ① 令和6年度総会の開催について
- ② 令和5年度の事業報告並びに決算見込み報告
- ③ 令和6年度事業計画・予算について
- ④ 役員改選(案)について
- ⑤ 会員調査結果報告
- ⑥ その他

◎令和5年度会員調査の結果がまとまりました。

調査へのご協力ありがとうございました。令和5年度の会員数81名中、回答された方は44名でした。(回収率54.3%)前回、令和3年度の回収率55%より0.7ポイント下がっています。回答率を年代別に見ると70~74歳の回答率が40.9%と最も高い状況でした。

(内容)

問1:あなたは保健師・看護師等の資格を活かしてどのような活動を行っていますか

○専門職の資格を活かして活動している方々は全体で33名(75.0%)でした。

○主な活動の場としては

- ・市町村・高齢者福祉関係・居宅介護支援事業所・特別養護施設
- ・看護大学・専門学校・秋田県・医師会・社会福祉協議・保育施設
- ・ゆずり葉の会受託事業及び協力事業・自主組織等で、広く活動が行われて

いました。

問2:ゆずり葉の会が行っている活動について日頃感じていること(自由記載)

- ① 年齢・体力・家庭の事情により協力できていないが、良い活動をしていると思うが 11 名 (25%)
- ② 受託している事業に協力出来て良かったと思う 3 名 (6.8%)
- ③ 受託事業の協力はしたが、少し負担に感じた 0 人
- ④ 今後協力できるか分からない 2 人 (4.5%) という状況でした。

受託事業に今後協力できるとすればどの事業に協力できますか

- ・保健と介護予防の一体的事業 2 名 (4.5%)
- ・フレイル健診 7 名 (15.9%)
- ・保健と介護予防・フレイル健診の両方 10 名 (22.7%)

約半数の方々が協力してくれる意思が見られました。



問 3：役員体制について（自由記載）

役員体制については多くのご意見を頂きました。

- ・現状で良い
- ・各地区幹事を 1 名ではなく 2 名にして欲しい等

問 4：会員の減少についての対策（自由記載）

- ・現役の保健師が参加できる内容を取り入れる
- ・「ゆずり葉だより」を市町村や事業所へ配布して活動内容を知ってもらう。
- ・会員一人一人が声かけをする。・むりなく楽しい会であることを伝える

問 5：会員の特技や資格を会員研修の講師、指導者として提供頂きたいと考えています。

あなたの特技・資格を教えてください。

- ・ 9 名の方が回答してくださいました。

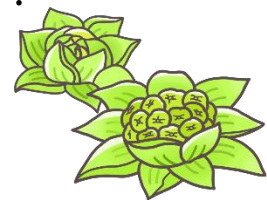
これからの研修会などの講師としてお願いしたいと思います。

問 6：今後、会で実施して欲しい事業がありましたらご記入ください。（自由記載）

- ・会員交流会の継続・会員を増やすための話し合い
- ・保健事業（国・県）の動向
- ・地域で課題になっていることを現職から聞く
- ・ゆずり葉の会が受託している事業の事業内容についての研修会 . . .

問 7：あなたの健康状態についてお答えください。

- ① 医療機関にかかることなく健康である（5 名 11.4%）
- ② 服薬はしているが健康である（35 名 79.5%）
- ③ 体調が思わしくない（3 名 6.8%）
- ④ 記載なし（1 名 2.3%）



問 8：ゆずり葉の会への意見等（自由記載）

- ・ゆずり葉の会は社会的にも認められていることがうれしく思う。
- ・「ゆずり葉だより」を楽しみにしています。
- ・総会、研修会に参加させて頂いて懐かしい方々とお会いできるのがありがたい等。

◎ 令和 6 年度の総会の期日が決まりました。（予告）

期日 令和 6 年度の総会は 令和 6 年 4 月 13 日（土） です。
 場所 協働大町ビル

※開催会場について皆様から駐車場が狭いなどのご意見を頂いておりますが、予算等の関係で令和6年度も協働大町ビルでの開催になります。ご出席宜しく申し上げます

◎健康づくり実践活動（オーラルフレイル予防・がん検診受診の推進）の継続を！！



今年度の「がん検診」は受診しましたか？
年に一度はがん検診を受診してご自分の健康を確認しましょう。
また、オーラルフレイルの予防は大丈夫ですか？
1年に一回は歯科を受診して口腔機能の維持に心がけたいです。

◎お願い（会の活動に協力してくれる方を募っています。）

ゆずり葉の会では令和6年度の協働事業として次の①（例年の事業）と②（令和5年度から実施）の事業について従事可能な会員を把握し、依頼に応じて派遣の調整をします。

（謝金あり）

① 県内避難者（東日本大地震）「こころの寄り添い事業」

この事業は 秋田市役所「センタース」・横手市（県南部男女共同参画センター）大仙市地域交流センター「はびねす大仙」を会場に概ね月1回実施している定期健康相談です。主催は秋田県です。

② 県内災害被災者支援事業（令和5年度は秋田市で豪雨災害支援を行いました。）

NPO法人、社会福祉協議会等からの依頼による健康相談事業（不定期）です。開催場所は依頼元が指定する会場で、開催日はその都度（日曜日含む）決定され、毎回2～3時間の従事となります。

秋田・男鹿・南秋地区以外の会員も、自分のエリアで対応可能な方は協力をお願いします。

ご協力頂ける会員の方は4月末までご連絡をお願いいたします。

連絡先：ゆずり葉の会担当（本間）TEL・FAX 共通 0184（37）2640

秋田県国民健康保険団体連合会ゆずり葉の会事務局（畠山）

TEL018（862）6585 FAX018（824）0043



災害は「いつ」「どこで」発生するか予測できません。
ご協力頂ける方は、よろしくをお願いいたします。

編集後記

今回の「ゆずり葉だより」は令和5年度の会員調査の内容をお知らせいたしました。会員の皆様は生涯現役で素晴らしい活動をしていることに感激しました。

会員、皆様お一人お一人が「ゆずり葉の会」の宝です。これからも会の活動に気づいたことなどをお知らせください。
（担当 本間美佐子）